



▲普段はなかなか聞けない話に参加者は熱心に耳を傾けました

## 田川市美術館

### 秋の夜長に「夜の美術館」開催

秋の夜長に合わせて、9月3日、10日、17日、24日の4日間、田川市美術館で「夜の美術館」が開催され、延べ174人が参加しました。

今回は、「夜のちょっといい話」をテーマに、従来の美術史講座だけでなく、同美術館で開催する展覧会の話から田川で活躍する新聞記者による取材体験談まで、あらゆる分野の講座が開かれました。

このイベントに参加した宮川節子さん（新町）は「どの講座も素晴らしく、さまざまな分野の話が聞けてうれしかったです。新鮮な気持ちになりました」と目を輝かせながら話しました。

ひと夏の頑張りを見てください！

## 夏休み自由研究展

9月21日・22日、田川文化センターで、市内の小中学校から応募があった作品など278点（小学校239点、中学校39点）を展示する「夏休み自由研究展」が行われました。

この取り組みは、子どもたちが自然や社会のできごとなどに興味・関心を持ち、自主的に学習した成果を広く知ってもらおうと平成3年から毎年開催されており、10円玉の汚れを落とす方法や歴史上の人物の調査など幅広い分野の研究に、訪れた人たちはひとつひとつ興味深げに目を通していました。

会場を訪れた子どもたちからは「わかりやすく楽しかった」「自分の作品が展示されていたのでうれしかった。来年も頑張りたい」などの感想が聞かれました。



▲子どもたちの力作を見ようと、2日間で341人が訪れました

シリーズ

## 田川市立病院だより

●かわいい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック



### 「産科における母乳育児・推進の取り組み」—看護部

田川市立病院産科は、年間380例程の分娩があり、出産されたお母さんに対して、特に母乳育児の推進に力を入れています。分娩後は、できるだけ早い時期に赤ちゃんに触れて授乳を開始し、赤ちゃんがしっかりお母さんの乳首を覚えられるようになります。

入院中は、助産師・看護師が昼夜を問わず、お乳の含ませ方や抱き方など母乳育児がスムーズに行えるよう関わっています。また退院後は、母乳育児のフォローとして体重測定などで来

院してもらい、体重の増加や授乳状況を聞きながら、個々にあった授乳方法をお母さんと一緒に考えていきます。

病棟には、併設した母乳外来（完全予約制）があり、病棟助産師が乳房マッサージをしながら、母乳に関することだけでなく育児の支援も行い、卒乳まで関わります。

このように、お母さんが安心して母乳育児が続けられるように、スタッフ一同お母さんと赤ちゃんにやさしい病院を目指しています。